

病害虫発生予察予報第5号（8月の大豆の予報）

佐賀県

目次

1 . 8月の大豆の病害虫	1
2 . 8月の予報	2
<u>普通作物</u> （大豆）	2

今月のトピックス

圃場での発生状況を確認して、適期防除に努めましょう(トラップ等のデータは、農業技術防除センターのホームページを参照して下さい)。

1 . 8月の大豆の病害虫



ハスモンヨトウ(若齢幼虫の集団, 白変葉 若齢幼虫の集団による食害 , 中-老齢幼虫)



イチモンジカメムシ



ミナミアオカメムシ

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部
〒840 2205 佐賀市川副町南里1088
TEL (0952)45 8153 FAX (0952)45 5085

【概要】

作物名	病害虫名	発 生 量		病害虫防除のてびきの記載ページ	備 考
		平年比	前年比		
大 豆	ハスモンヨトウ	並	並	204～205, 210～212	
	カメムシ類	並	並	205～206, 212～214	

【特記事項】

1. 今後、**白変葉**（ハスモンヨトウ若齢幼虫の集団による被害）が出現し始めるため、**各地域で白変葉の発生状況を確認し**、適期防除を行う。

大豆

（巡回調査日：8月1～5日）



巡回調査時の生育状況

1. ハスモンヨトウ

1) 予報の内容

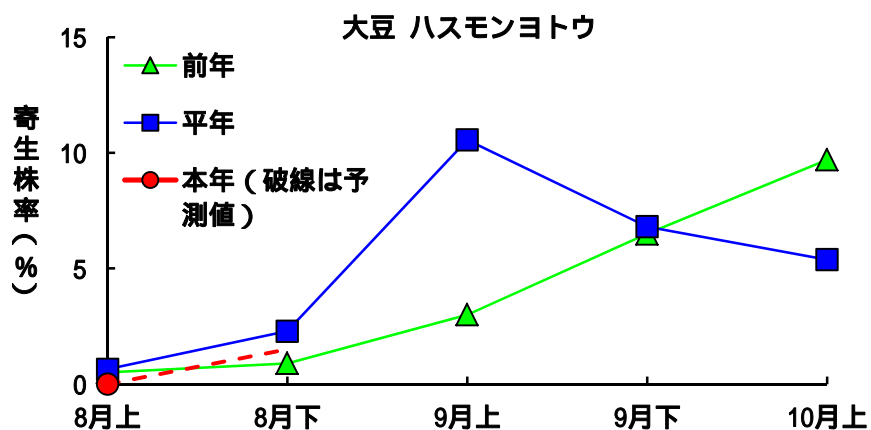
発生量：平年並（前年並）

2) 予報の根拠

- (1)巡回調査では、発生を認めていない（平年0.6%、前年0.5%）。 - ~ ±
- (2)8月1半旬のフェロモントラップでの誘殺数は平年並である（図1）。 ±
- (3)福岡管区気象台が8月7日に発表した九州北部地方の1ヶ月予報では、並発生条件となっている。 ±

3) 防除上注意すべき事項

- (1)**上位葉に白変葉（若齢幼虫の集団による被害）が出現し始めた時に第1回目の防除を行う。**
- (2)各地域におけるフェロモントラップでの誘殺状況や農業技術防除センターの誘殺情報（ホームページ）に十分留意し、誘殺数が増加したら必ず圃場を見回り、大豆での白変葉の発生状況を確認する。
- (3)大豆の生育に応じた薬量で、茎葉にまんべんなく付着するように散布する。
- (4)莢の伸長初期から子実肥大中期に薬剤を散布する場合は、カメムシ類にも効果のある薬剤を選択する。



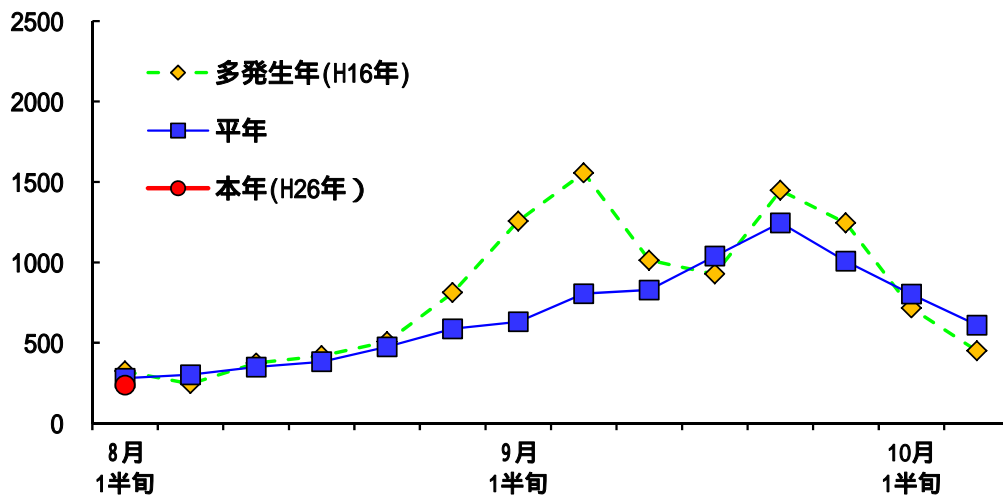


図1 フェロモントラップによるハスモンヨトウの半旬別誘殺数（10月2半旬まで）
 （農業共済組合、農業試験研究センター、農業技術防除センターによる県内9地点の平均誘殺数。ただし、年によっては、8月2半旬頃から調査開始の地点がある。）

2. カメムシ類（アオサカメシ，イモンジカメシ，ホリハリカメシ，ミナミアオカメシ等）

1) 予報の内容

発生量：平年並（前年並）

2) 予報の根拠

- (1)巡回調査では、発生を認めていない（寄生株率：平年0.1%、前年0%）。 ±
- (2)福岡管区气象台が8月7日に発表した九州北部地方の1ヶ月予報では、並発生の条件となっている。 ±

3) 防除上注意すべき事項

- (1)カメムシ類の防除は、莢の伸長初期から種子肥大中期が効果的である。さらに、発生の多い場合には7～10日間隔で2～3回防除を行う。
- (2)薬剤は、着莢部によくかかるように散布する。
- (3)播種時期の早い圃場では、被害を受けやすいので注意する。
- (4)例年、青立ちが見られる地域では、防除を徹底する。
- (5)ハスモンヨトウに対して莢の伸長初期から子実肥大中期に薬剤を散布する場合は、カメムシ類にも効果のある薬剤を選択する。

